

第2学年 英語科学習指導案

日時 平成 17 年 9 月 28 日 (水) 2 校時
場所 2 年 F 組教室
学級 2 年 F 組 (野 20 名 好 15 名 計 35 名)
指導者 村上 花恵

1 単元名 Unit 4 Homestay in the United States

2 単元について

(1) 教材観

Unit4 は、will, must, have to などの助動詞類を扱いながら、ホームステイの場面設定の中で、コミュニケーションの基本的な態度や異文化理解について学ぶことのできる単元である。この単元を学習する 2 学期の初めは新しい ALT を迎える時期に当たる。そこで、異国にやってきた ALT のために、水沢で生活する上で役立つ情報を提供するという場面設定をし、学んだことを生かして情報発信をする表現活動を取り入れたい。そのために、Unit 6 で扱う There is / are ~. 構文を先取りして導入し、書く活動に結びつけたい。

(2) 生徒観

明るい雰囲気のある学級で、自分の考えや意見を積極的に出し合いながら、活気のある授業ができる。個別に支援を必要とする生徒も多くいるので、通常は JTE による T.T. を基本としている。

「書く」ことについては、1 年生の時からできるだけ自己表現活動を取り入れてきた学年である。2 年生に入ってから、Show and Tell のスピーチ、過去形を使った日記、将来の夢など、できるだけまとまった文章を書かせることを意識してきた。英語に苦手意識を持つ者も少なくないが、手がかりや手だてがわかれば意欲的に書こうとする生徒たちである。

平成 16 年度の CRT で、「書くこと」の得点率は学年平均で 68.1%。全国平均よりは若干高いが、問題が基本的な内容であることを考えると、70% は超える力をつけさせたい。また、平成 16 年度の学習定着度状況調査の結果では、「聞くこと」と「読むこと」の正答率が 87% であるのに対して、「書くこと」は 78% と下回っている。

(3) 指導観

表現活動の中で特に書く力を伸ばすために、その前段階で用いる表現を理解し、その用法に十分に慣れることが大切である。そのために口頭での練習を繰り返し行い、一人一人の生徒が自信を持って表現できる状態を作ることを心がけたい。さらに「言える」表現を「書ける」までに高めるためには、授業の中でも書く練習を最大限に確保しなければならない。また、語彙や既習の文法事項も練習の中に取り入れながら、表現の幅が広がるよう支援したい。

ドリル学習の場面では、時間内に評価、指導を行うことができるよう、生徒同士で教え合い確かめ合うような工夫をしたい。

3 単元の目標

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・ホームステイに関心を持ち、ステイする立場、ホストの立場両方に立ちながら問題解決に向かって意欲的に活動する。
- ・日本での生活を始めたばかりの新しい ALT に、習った表現を用いて意欲的に情報カードを書くこととする。

(2) 表現の能力

- ・義務や必要を 2 通りの言い方で話したり書いたりできる。
- ・will を用いて自分の意思を伝える文を話したり書いたりできる。
- ・There is / are ~. の表現を用いて、新しい ALT に水沢の情報を伝えるためのメッセージカードを書くことができる。

(3) 理解の能力

- ・must と have to の肯定、否定の意味をそれぞれ理解し、義務や必要について述べた文の意味がわかる。
- ・will を用いて意思を伝える文の意味がわかる。

- ・ホームステイについて本文の内容を読み、問題点やアドバイスについて概要を読み取ることができる。

(4) 言語や文化についての知識理解

- ・ must、have to の意味や用法の違いを理解し、英文の中で正しく使うことができる。また、正しく発音できる。
- ・ 助動詞 will の意味と用法を理解し、英文の中で正しく使うことができる。また be going to との意味や文の構造の共通点や違いがわかる。
- ・ 「ホストファミリーの一員であるとはどういうことか」学習を通して知る。
- ・ There is (are)~.の構文（肯定文）の意味、用法を理解し、正しく使うことができる。

4 単元の指導計画（6時間扱い）5 / 6 本時

- 第1時 Starting Out
- 第2時 Dialog
- 第3時 Reading for Communication
- 第4時 Reading for Communication

第5時	発展	Drill	（本時）	・表現（書く）活動の準備
第6時		Writing		・新しいALTのために、情報カードを書く活動

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- < コミュニケーションへの関心・意欲・態度 >
本時の学習課題となる表現を身につけようと、意欲的に学習に取り組む。
- < 言語や文化についての知識理解 >
There is / are ~. 構文（肯定文）の意味、用法を理解し、正しく使うことができる。

(2) 本時の評価

観点	評価規準と評価方法	具体的評価規準		C 努力を要する生徒への支援の手だて
		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	
関心・意欲・態度	「口頭練習の観察」十分に声が出ているか。考えながら取り組んでいるか。「机間指導」意欲的にドリル学習をしているか。自分の力で進めようとしているか。	・口頭練習で率先して声を出し、考えながら練習している。 ・ドリル学習に意欲的に取り組み、時間内に課題を消化できる。	・学習事項を身につけるために、声を出して口頭練習している。 ・自分の力でドリル学習を進めようとしている。	・口頭練習の後半では個別に言わせるなどして理解度を確認する。 ・ドリルでつまずいている箇所や間違いを、教え合いや教師の支援で、その場で解決できるようにする。
言語・文化の知識理解	「学習プリント」書くドリルの中で、確認問題を解くことができるか。文化の構造を理解して英文が作れているか。「机間指導」確認問題に取り組んでいるか。教え合いが機能しているか。	・There is(are)~.の意味と用法を理解し、書く Drill の中で、確認問題を解くことができる。また、自分で文の組み立てを考えて、正しく英文を作ることができる。	・There is(are)~.の意味と用法を理解し、確認問題を解くことができる。	・There is (are)~. の構文について再度説明する。 ・ドリルでつまずいている箇所や間違いを、教え合いや教師の支援で、その場で解決できるようにする。

(3) 展開

段階	学習内容	生徒の学習活動	教師の支援 評価 ()	備考
導入 3分	1 英語のあいさつ 2 Last Sunday I met Sanjay. He was in trouble. He was sick. He wanted to buy medicine. But he didn't know any drug stores. He didn't know what to do. So I advised him like this.	・元気にあいさつする ・教師の話す英語を聞いて、本時の話題をつかむ。	・なぜおすすめ情報を書くのか、動機付けになるような内容を話す。	
7分	3 Listening	・教師がどのように情報を提供したか、聞き取ってカードを完成させる。 ・既習事項では理解できない部分を確認する。	・情報カードのモデルを提示し、空欄を埋めさせながら本時の課題を提示する。	情報カードのモデル
「～に…があります。」の表現を覚えよう。				
(10)				
展開 10分	4 新文型の導入	・～があります。の言い方について学ぶ。 <u>There is</u> a hospital <u>near your house.</u> あります ～が(主語) どこに	・文法事項を説明、整理してノートをとらせる。	
15分	5 文型の練習 (1)口頭練習	・口頭で繰り返し練習する。 ・パターンプラクティス There is 単数名詞 in ~. near ~. などの表現を加える (一斉 個) There are some(数,many) 複数名詞 in~. near ~. などの表現を加える (一斉 個) グループ練習	意欲的に声を出して練習しているか。	
12分	(2)練習問題	・基本文型を使った表現を書く練習をする。 確認問題 練習問題	・確認問題ができた生徒は教師が丸付けをし、できた生徒を核に、生徒同士で確かめをする。 ・確認問題が終わった生徒は練習問題へ進む。 学習事項が定着しているか。	学習プリント
(37)				
終末 2分	6 自己評価	・本時の授業を振り返る		自己評価
1分	7 次時の学習 内容の確認	・モデルのようなおすすめ情報のカードを書くことを確認する。また、次時までで紹介したい場所をいくつか考えてくる。	・次時の書く活動へのイメージを持たせる。	
(3)	8 英語のあいさつ	・元気よくあいさつをする		

TOMORROW 2

There are some big drugstores in Mizusawa. (複数)
水沢にはいくつか大きな薬局が_____。

There is a big hospital near your house. (単数)
あなたの家の近くに大きな病院が_____。

<確認 1 > 正しい方を選びなさい。

水沢には図書館があります。There (is / are) a library in Mizusawa.

わたしの街には病院がたくさんあります。

There (is / are) many hospitals in my city.

市役所の近くに大きな建物がいくつかあります。

There are (a / some / any) big buildings near the city hall.

公園の近くに学校が2つあります。

There are two schools (in / near / at) the park.

<確認 2 > 意味を完成させなさい。

There is a good hotel near the station.

駅の近くに、よいホテルが一軒()

There are many banks in Mizusawa.

水沢には、銀行が()あります。

<確認 3 > 英文を完成させなさい。

わたしの街には大きい公園が一つあります。

_____ a big park in my city.

この近くに2つの川があります。

_____ two rivers near here.

駅の近くにお店がたくさんあります。

_____ shops near the station.

病院の近くに小さな公園があります。

There is a small park _____ the _____.

公園の中には木がたくさんあります。

There are many trees _____ the _____.

< 確認 4 > () の語句を使って、日本語の意味を表す英文を作りなさい。
わたしの街には工場があります。(a factory / in my city .)

公園の近くに病院が 2 つあります。(two hospitals / the park)

< 練習 1 > 次の英文の意味を書きなさい。

There is a hospital near my house.

() に () が () 。

There are three junior high schools in Mizusawa.

()

There is a CD on the desk.

()

There are some notebooks in my bag.

()

< 練習 2 > 並べ替えなさい。

学校の近くに本屋さんがあります。

(a / there / school / near / the / bookstore / is / .)

水沢には公園がたくさんあります。

(Mizusawa / parks / in / are / there / many / .)

一週間は 7 日あります。(seven / there / in / are / days / week / a / .)

< 練習 3 > 英文を書きなさい。

水沢には高校(high schools)が 4 つあります。

佐倉河(Sakurakawa)には、美しい公園があります。

それは J A の近くです。(の続き It で始めて)

The Message to Sanjay

I'll tell you about some drug stores.

_____ some big drugstores in Mizusawa.

One is **Kawachi** . It's near Coop Aterui. Another is **Tsuruha**.

It's (near / in) Mizusawa Shogyo High School.

We can (by / buy) medicine there.

And _____ a big hospital near your house.

It's Mizusawa Hospital. You have to go to the hospital if you are very sick.

2 - ___No. ___Name_____

< 自己評価 >

	とても	だいたい	あまり	まったく
・積極的に学習に取り組むことができた。	A	B	C	D
・「・・・に ～ があります。」の言い方がわかった。	A	B	C	D
・確認問題を解くことができた。	A	B	C	D
・次の時間にメッセージを書くのが楽しみだ。	A	B	C	D